

さらに、4年後の(1936)年、2月26日

## 二・二六事件

が起こった。

(陸)軍の青年将校が軍部政権をうちたてようとしてクーデターを企て、部隊を率いて首相官邸、警視庁、新聞社などを襲撃し、東京の中心部を占拠しました。

- 天皇のそばで政治を行う重臣が、天皇の政治をさまたげていると考えた。
- 政党政治とそれに絡みついている資本家や地主を倒さない限り、国民を救うことはできないと考えた。



(高橋是清)大蔵大臣、斎藤実内大臣らを暗殺、  
岡田啓介首相は難を逃れた。

陸軍の予算を削った  
ことで青年将校の  
恨みを買っていた

政府高官が  
暗殺された



天皇の指示もあり、反乱軍は鎮圧され、首謀者には死刑判決が下りました。

残った陸軍は力をつけ、政治への介入を強め、  
軍部の政治的な発言力が強まり、軍事費も増やされました。